

平成 19 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア プ ラ ス
代 表 者 氏 名 取 締 役 社 長 山 本 輝 明
(コード番号 8 5 8 9 大 証 第 一 部)
本 社 事 務 所 大 阪 市 中 央 区 南 船 場 四 丁 目 1 番 9 号
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 野 口 郷 司
最高財務責任者
TEL (03) 5229-3735 (直通)

特別損失の計上および平成19年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、平成18年11月15日に修正公表いたしました平成19年3月期通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想を下記のとおり再修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の追加発生について

本日、別途公表いたしました「経営改革の実施に関するお知らせ」、「組織変更のお知らせ」、「希望退職者募集に関するお知らせ」に伴う一連の措置として追加的に特別損失95億円（連結）を計上する見通しとなりました。この要因は、希望退職の実施による特別退職金55億円（連結）、実質破綻先債権等の最終処理に伴う費用29億円（連結）、拠点再編などによる費用11億円（連結）の計上によるものであります。なお、これにより平成19年3月期通期の特別損失は109億円（連結）を見込んでおります。

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 単体

(単位：百万円)

	営 業 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 0 3 , 0 0 0	5 , 0 0 0	1 , 5 0 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 0 2 , 5 0 0	△ 1 1 , 2 0 0	△ 2 3 , 7 0 0
増 減 額 (B - A)	△ 5 0 0	△ 1 6 , 2 0 0	△ 2 5 , 2 0 0
増 減 率	△ 0 . 5 %	—	—
ご参考：平成18年3月期（6ヶ月決算）	5 1 , 3 2 8	7 , 6 3 2	8 , 0 2 8
ご参考：平成17年9月期（6ヶ月決算）	4 9 , 3 1 1	6 , 1 9 1	7 , 5 1 3

(2) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	114,000	5,000	1,500
今回修正予想 (B)	113,400	△12,200	△25,200
増減額 (B - A)	△600	△17,200	△26,700
増減率	△0.5%	—	—
ご参考：平成18年3月期 (6ヶ月決算)	51,712	8,186	8,301
ご参考：平成17年9月期 (6ヶ月決算)	49,562	6,474	8,039

3. 修正の理由 (単体および連結)

営業収益につきましては、良質債権の積上げに主眼を置いた与信基準の厳正化に努める一方、これに伴う融資残高のコントロールにより想定以上に伸びが鈍化することなどにより、単体5億円・連結6億円が減少する見込となりました。営業費用は、貸倒引当基準の一段の厳格化や早期延滞解消率の若干の悪化に伴う延滞債権の増加による貸倒引当金繰入額の大幅な増加、いわゆるグレーゾーン金利の返還請求に備えた利息返還損失引当金の大幅な積増しなど、今年度下期の状況を踏まえ慎重に検討した結果、単体157億円・連結166億円が増加し、経常利益が減少する見込となりました。さらに、特別損失の追加計上の結果、単体で237億円・連結で252億円の当期純損失となる見込となりました。

業績予想の修正内訳 (連結)

(単位：百万円)	営業収益	経常利益	当期純利益
修正前の業績予想 (2006/11/15)	114,000	5,000	1,500
(業績修正の要因)			
営業収益の減少	△600	→ △600	→ △600
営業費用の増加	—	△16,600	→ △16,600
貸倒引当金繰入額	—	△8,300	→ △8,300
利息返還損失引当金繰入額(注)	—	△7,800	→ △7,800
販管費・その他	—	△500	→ △500
特別損失の計上	—	—	△9,500
特別退職金	—	—	△5,500
実質破綻先債権の最終処理	—	—	△2,900
拠点再編・その他	—	—	△1,100
修正後の業績予想 (2007/1/16)	113,400	△12,200	△25,200

(注) 利息返還請求にかかる損失見込は、以下のとおりであります。(単位：百万円)

	上期	下期	計
修正前	2,300	1,200	3,500
今回修正	—	7,800	7,800
修正後	2,300	9,000	11,300

なお、本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、最終業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上